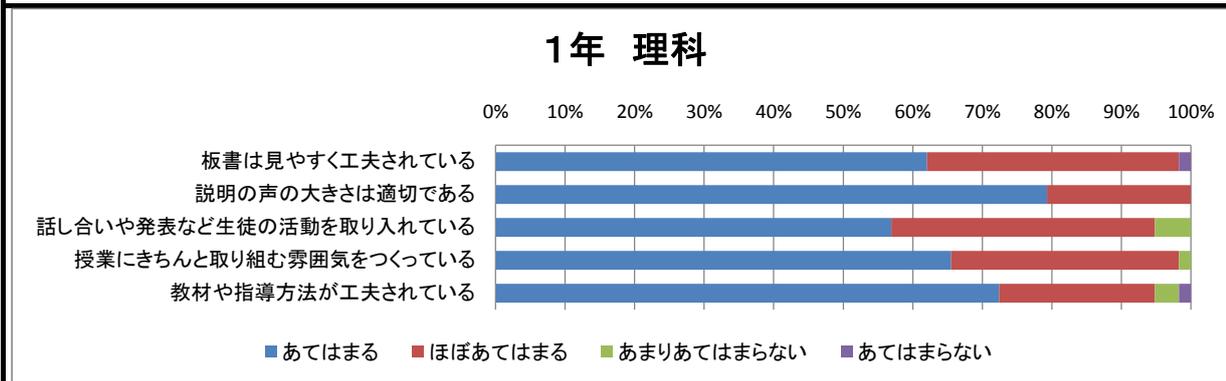


H30年度 第1学期 生徒授業評価アンケートより

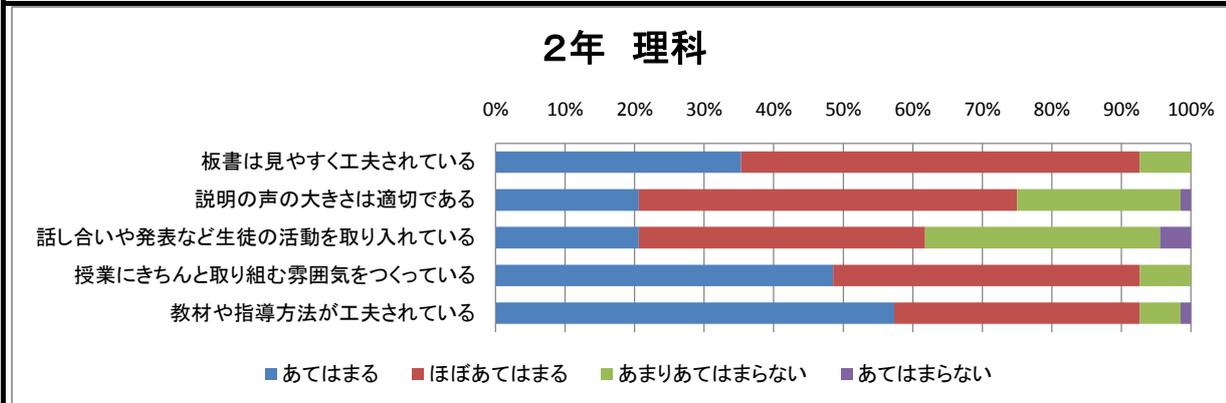
教科	理科	重点目標	・観察や実験を通して、自然の事物や現象についての問題を科学的に理解し、解決するための能力や資質を養う。
----	----	------	---

学習指導に関する現状と課題(一学期・生徒による授業評価アンケートより)



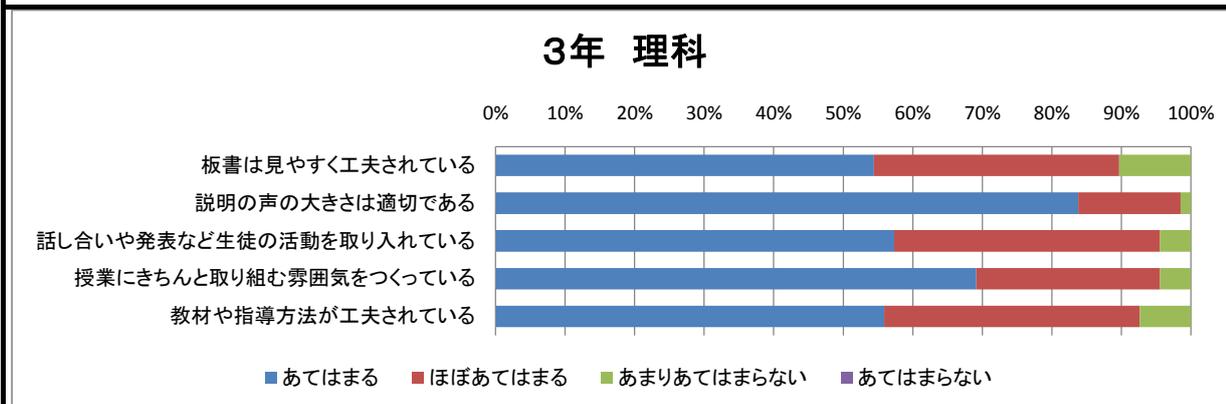
分析

- ・全ての項目で「あてはまる」、「ほぼあてはまる」がほぼ90%を超えており、生徒は、授業をほぼ満足して受けられていると考える。
- ・話し合いや発表などの活動では「あてはまる」の割合が少なかったため、生徒が話し合ったりアウトプットをする場面を増やしていく。
- ・板書ではパワーポイントを使用した授業展開なので、文字の大きさはなるべく大きくし、スライド数はなるべく少なくなるようにしていく。
- ・理科ならではの体験を増やしていけるよう、実験等を多く盛り込んでいく。



分析

「化学変化と原子・分子」、「電流とその利用」と、難しい単元にはいったきた。覚えること(記号・化学式や公式)、計算(比例・反比例、連立方程式)等、例年生徒が苦手意識を持つてくる単元である。事象を見る、反応を確認すること中心に実験を行ってきた。何故?どうして?というところまで時間をかけて深く考えるところまで授業を進められなかったところを二学期以降に改善していく。暗記事項と考えることを順に提示し授業にメリハリをつけていきたい。



分析

- ・全ての項目で「あてはまる」、「ほぼあてはまる」がほぼ90%を超えており、生徒は、授業をほぼ満足して受けられていると考える。
- ・「あてはまる」の項目で考えた場合、「板書の工夫」、「話し合いや発表などの活動を取り入れる」、「教材や指導方法の工夫」に課題が見られる。
- ・「板書の工夫」については、板書計画を立てて、わかりやすい板書を心がけたい。
- ・「話し合いや発表などの活動を取り入れる」については、1時間の中に、なるべく話し合いや発表を入れてきたつもりだが、毎回できていない。毎回の授業で、生徒の話し合いや発表などの活動を必ず入れていきたい。
- ・「教材や指導方法の工夫」を改善することにより、内容を理解しやすくして、取り組む雰囲気が向上するように改善していくことが課題である。